

## 平成24年度教育研究活動報告書

氏 名	小川 長	所 属	経済情報学部経済情報学科
学 位	博士（経済学）	職 位	准教授
専門分野	経営戦略・マーケティング		
I 教育活動			
本年度担当科目			
学 部	基礎演習Ⅰ、専門演習Ⅰ・Ⅱ、戦略経営論、マーケティング論、ファイナンス論、証券市場論、尾道学入門（オムニバス）		
大学院	マーケティング特論		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
〈論文〉			
(1) 平成22年度「地方経済の活性化における中小企業の経営計画の重要性」 『地方自治研究』26-1 【査読付き論文】			
(2) 平成23年度「ミネラルウォーター市場のコモディティ化と商品戦略」 『商品開発・管理研究』8-1 【査読付き論文】			
(3) 平成24年度「コモディティ化と地域企業の戦略」 『尾道市立大学経済情報論集』12-1			
(4) 平成24年度「コモディティ化市場における企業の行動と戦略」 『尾道市立大学経済情報論集』12-2 【科研費補助金・挑戦的萌芽研究】			

(5) 平成24年度「地域活性化とは何か」  
『地方自治研究』28-1 【査読付き論文】

本年度を含む過去5年間の研究業績

〈論文〉 上記5編の論文を除く

(1) 平成20年度「中小企業における経済政策の効果」(共著)  
『くらしき作陽大学作陽短期大学紀要』41-2

(2) 平成22年度「商品としてのジーンズの経験価値の源泉の研究」  
『尾道大学経済情報論集』10-2

(3) 平成23年度「コモディティ化と経営戦略」  
『尾道大学経済情報論集』11-1

(4) 平成23年度「清涼飲料市場にみるコモディティ化とマーケティング戦略」  
『尾道大学経済情報論集』11-2

〈学会発表〉

(1) 平成22年度「地域活性化と中小企業の経営戦略」  
『日本地方自治研究学会関西西部会第87回研究会』

(2) 平成22年度「ジーンズ・メーカー「クラクション」の経験価値の創造」  
『商品開発・管理学会第14回全国大会』

(3) 平成22年度「試作品の市場テストにおける消費者の価値観と商品評価の関係」(共同)  
『商品開発・管理学会第15回全国大会』

(4) 平成23年度「食品の知的財産マネジメント」  
『商品開発・管理学会第16回全国大会』

(5) 平成23年度「コモディティ化と地域企業の戦略」  
『日本地方自治研究学会第28回全国大会』

(6) 平成23年度「清涼飲料市場におけるコモディティ化」  
『商品開発・管理学会第17回全国大会』

<p>(7) 平成23年度「乳酸菌飲料市場における商品価値の創造と伝達」(共同) 『商品開発・管理学会第17回全国大会』</p>	
<p>(8) 平成23年度「コモディティ化市場における差別化と同質化」(共同) 『日本情報経営学会第63回全国大会』</p>	
<p>(9) 平成24年度「コモディティ化市場における差別化と同質化(Ⅱ)」(共同) 『日本情報経営学会第64回全国大会』</p>	
<p>(10) 平成24年度「地域活性化「論」の整理」 『日本地方自治研究学会第29回全国大会』</p>	
<p>(11) 平成24年度「消費者の缶コーヒー選択基準と今後の企業戦略」 『商品開発・管理学会第19回全国大会』</p>	
<p>(12) 平成24年度「コモディティ化市場における企業の行動と戦略」 『経営戦略学会第13回研究発表大会』</p>	
<p>現在の研究テーマ(3つまで)</p>	
<p>(1) コモディティ化市場における経営戦略およびマーケティング戦略</p>	
<p>(2) 経験価値とその測定</p>	
<p>(3) 地域活性化</p>	
<p>研究テーマの 進捗状況</p>	<p>昨年、科学研究費補助金と学長裁量教育研究費をいただき、4回の学会発表(うち共同1回)を行い、1編の査読論文と2編の紀要論文を上梓した。また、日本地方自治研究学会の研究部会メンバーとして、地域活性化をテーマに共同研究に取り組んでいる。なお現在、投稿論文(共同)1編および紀要論1編を執筆中である。</p>
<p>学会、所属団体における活動</p>	

所属学会・所属団体 役職等	
日本地方自治研究学会（理事）、商品開発・管理学会、日本情報経営学会、経営戦略学会、日本商業学会	
Ⅲ 社会活動	
1. 学外活動	
(1) 自主公開講座「街中ゼミナール」の開催（月1回、尾道商業会議所記念館会議室）	
(2) 尾道本通り商店街にて「街中プチ文化祭」の企画・実施	
(3) 尾道商工会議所主催「ええ店じゃん尾道」審査委員長	
2. 委員会及び協議会委員	
尾道市関係	
海事都市尾道推進協議委員会委員	